

「学校教育に関するアンケート」のまとめ

令和7年3月 塚田小学校

(1) 実施項目と結果（回答率 82.2%）

A そう思う B どちらかといえばそう思う C どちらかといえばそう思わない D そう思わない E わからない							
		A	B	C	D	E	
1	学校は、学校目標「自ら学び、心豊かにたくましく生きる児童の育成」を目指して教育活動を行っている	R6年度	27.0%	61.8%	1.8%	1.0%	8.4%
		R5年度	30.8%	61.0%	2.0%	0.5%	5.7%
2	学校は、学校だより・ホームページ・メール配信等で、保護者や地域の方に対して情報提供を適切に行っている	R6年度	55.1%	42.1%	1.1%	0.3%	1.4%
		R5年度	55.4%	40.8%	2.0%	0.3%	1.6%
3	学校は、いじめのない学校作りに取り組んでいる	R6年度	17.8%	52.4%	5.9%	1.9%	22.0%
		R5年度	19.6%	52.1%	6.1%	1.7%	20.4%
4	学校は、スクールカウンセラーに相談したい時にどうすればよいかをわかりやすく説明するなど、お子さんや保護者にとって悩みや困った事を相談しやすい環境づくりに努めている	R6年度	28.5%	54.5%	5.1%	1.4%	10.5%
		R5年度	35.2%	50.2%	5.6%	1.7%	7.3%
5	学校は、分かりやすく工夫して授業を展開している	R6年度	36.0%	52.3%	2.8%	1.0%	7.9%
		R5年度	32.4%	50.5%	4.3%	1.3%	11.6%
6	学校は、ICT機器（タブレット端末・電子黒板等）を学習に適切に活用している	R6年度	39.0%	46.7%	5.4%	1.9%	7.0%
		R5年度	34.5%	47.6%	5.2%	3.0%	9.8%
7	学校は、お子さんの体力向上に対する指導を適切に行っている	R6年度	24.5%	58.8%	7.3%	1.0%	8.4%
		R5年度	30.4%	55.4%	5.6%	2.0%	6.6%
8	学校は、授業参観・懇談会・教育相談等、保護者と学校が話し合う機会を適切に設けている	R6年度	49.9%	45.9%	1.5%	0.1%	2.6%
		R5年度	46.4%	49.8%	2.0%	0.4%	1.4%
9	学校は、PTAや地域との連携を図っている	R6年度	37.6%	52.0%	1.1%	1.0%	8.3%
		R5年度	33.2%	56.4%	1.6%	0.7%	8.2%
10	学校は、教室環境・廊下・掲示物等、お子さんの学びの場としての環境づくりに努めている	R6年度	38.2%	55.3%	2.3%	0.6%	3.6%
		R5年度	40.4%	49.7%	2.1%	0.3%	7.5%
11	学校は、お子さんの健康と安全に対する指導を適切に行っている	R6年度	30.7%	57.9%	3.0%	1.0%	7.4%
		R5年度	36.3%	55.0%	2.3%	1.0%	5.3%
12	学校は、食育を通してお子さんのよりよい生活習慣作りに努めている	R6年度	37.6%	51.8%	3.3%	0.8%	6.5%
		R5年度	43.2%	48.9%	2.2%	0.7%	5.1%
13	学校は、感染症対策や病気・怪我等の保護者への連絡を適切に行っている	R6年度	26.9%	57.3%	5.8%	2.1%	7.9%
		R5年度	45.4%	47.1%	4.4%	0.9%	2.2%
14	お子さんは、学校を楽しみにし元気に登校している	R6年度	46.9%	41.0%	7.7%	2.9%	1.5%
		R5年度	51.1%	39.9%	5.6%	2.5%	0.9%
15	お子さんは、生命を大切にす心や社会のルールを守る態度が育っている	R6年度	34.7%	59.2%	3.0%	0.1%	3.0%
		R5年度	37.2%	58.3%	2.5%	0.3%	1.8%
16	お子さんは、「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣が身についている	R6年度	39.4%	41.9%	14.2%	4.5%	0.0%
		R5年度	39.9%	43.8%	12.1%	4.0%	0.0%
17	お子さんは、家庭学習に取り組んでいる	R6年度	28.5%	45.3%	18.3%	6.5%	1.4%
		R5年度	30.7%	44.2%	18.9%	5.9%	0.4%
18	お子さんは、「テレビ視聴やゲームをする時間」「携帯電話やインターネットの使い方」等について、家庭でのルールを守っている	R6年度	21.3%	46.3%	23.3%	8.3%	0.8%
		R5年度	21.2%	47.1%	22.2%	8.5%	1.0%
19	保護者の皆様は、学校からの文書やメールなどをよく読んでいる	R6年度	29.2%	59.3%	8.0%	0.7%	2.8%
		R5年度	31.9%	58.4%	7.9%	1.3%	0.5%
20	お子さんは、英語科の授業に意欲的に参加している	R6年度	27.8%	46.3%	8.4%	2.2%	15.3%
		R5年度	28.1%	45.4%	12.0%	1.8%	12.7%
21	地域・保護者等における子供の見守り活動が充実している	R6年度	28.8%	57.9%	4.8%	1.1%	7.4%
		R5年度	31.3%	57.1%	4.8%	0.7%	6.1%

（２）考察

○「３ いじめ防止への取り組み」について（肯定的評価… 70. 2 %）

いじめ防止への取り組みについて、学校全体でより重点的に取り組んでほしいとのご意見をいただきました。いじめについては、未然防止と早期発見がとても重要であると考えております。そのために、「市のアンケート（年３回）」「県のアンケート（年１回）」「学校独自のアンケート（月１回）」「児童と担任との個人面談」「児童会によるいじめ防止の取り組み」「校長室前の相談ボックスの活用」「担任または相談しやすい教職員（スクールカウンセラー・養護教諭・生徒指導主任・主幹教諭・教頭など）への困りごとの相談の声掛け」「全職員によるいじめに関する定期的な情報共有」「児童同士のトラブルが発生した際の保護者へのこまめな連絡」「ホームページを通して『塚田小いじめ防止基本方針』の周知」などを継続し、より一層いじめの未然防止と早期発見に尽力していきます。また、「わからない」と答えた割合が22%と高いことから、来年度はいじめ防止の取り組みの内容につきまして、保護者の皆様への周知に努めて参ります。昨今、ラインや写真等SNSのトラブルも発生しています。未然防止・早期発見のために、保護者の皆様におかれましても早めの相談や情報提供のご協力をお願いいたします。

○「４ スクールカウンセラー（以下ＳＣと表記）との相談体制」について（肯定的評価… 83. 0 %）

ＳＣとの相談体制について、保護者と児童に引き続き周知を図り、より体制整備を進めてほしいとのご意見をいただきました。本校では、県と市から派遣された2名のＳＣが勤務しております（県ＳＣは基本的に月に2回、市ＳＣは基本的に週に1回）。学校だよりにＳＣの勤務日と相談申込の仕方を毎月明記することに加え、来年度は各教室にもＳＣの勤務日を掲示して児童に説明し、周知を図っていきます。また、ＳＣには相談が入っていない時間に校内を巡回してもらい、ＳＣ側から児童へ声掛けをしたり、相談の提案を行ったりするなど、相談しやすい体制整備を進めていきます。

○「７ 体力向上に対する指導」について（肯定的評価… 83. 3 %）

体力向上に対する指導について、より力を入れて取り組んでほしいとのご意見をいただきました。昨年度から本校では業間体育（業間休みの最後5分間）として、「投力向上の取り組み（納会…スポーツテストのソフトボール投げ）」「短距離走の取り組み（納会…運動会の徒競走）」「長距離走の取り組み（納会…マラソン記録会）」を全校で実施しております。また、冬季は学年ごとに縄跳びの取り組みも実施しております。これらの取り組みがスポーツテストの結果に成果として表れ、今年度は96項目中41項目において県平均を上回りました（昨年度は16項目）。今後も、県平均を下回っている項目の向上を目指し、業間体育や体育の授業において引き続き取り組みを実施していきます。ご家庭におかれましても、外遊びの推奨や体を動かす機会の確保等、体力向上に努めていただけますと幸いです。

○「１３ 感染症対策、病気・怪我等の連絡」について（肯定的評価… 84. 2 %）

感染症対策、病気・怪我等の連絡について、よりこまめな情報提供を望むとのご意見をいただきました。昨年度は9月の時点でインフルエンザが流行し、学級閉鎖や感染症の連絡を差し上げておりましたが、今年度は12月下旬まで学級閉鎖が発生せず、連絡を差し上げる機会が不足していたことが肯定的評価が低いことに影響していると思われますので、来年度は学級閉鎖が発生していなくても定期的に情報を差し上げるよう努めて参ります。今後も、児童が学校で体調不良を訴えたり怪我をしたりし、早退あるいは病院を受診した方がよいと判断した場合には、保護者の皆様に必ず連絡を行っていきます。また、早退・病院受診までいかない場合であっても、連絡帳や電話を通して、体調不良や怪我等の連絡を保護者の皆様に行うよう、全職員でこれまで以上に意識を高くして取り組んでいきます。

○「２０ 英語科の授業」について（肯定的評価… 74. 1 %）

英語科の授業について、さらなる充実を望むとのご意見をいただきました。船橋市は平成21年度より文部科学省の「教育課程特例」の指定を受け、本校でも全学年でALT（ネイティブの派遣教員）と担任による授業を行っています。本校のALTはとても熱心で、楽しくわかりやすい英語の授業を行うよう担任と共に教材研究に努めており、児童も楽しみながら授業を受けている様子が見られますが、今年度は英語科の授業参観の機会がとれなかったことが肯定的評価が低いことに影響していると思われますので、来年度は全校とはいかないまでも英語科の授業参観の機会がとれるよう調整を図ります。お子さんのクラスではなくても、授業参観に来られた際は英語の授業をぜひ見ていただけますと幸いです。また、校内に英語の掲示物等を掲示したり、ALTが各クラスを回って一緒に給食を食べたりすることで、より一層英語への興味関心を高めていきます。

○その他のご意見について

- ・「マラソン記録会の実施方法」「タブレットの取り扱い」「宿題の内容・量」「感染症対策（マスクの着用・学級閉鎖等）」「学校行事（運動会・音楽発表会等）の時期・内容等」「授業参観・個人面談の回数・内容等」などに対する保護者の皆様のご意見は賛否様々です。いただいたご意見には全て目を通しております。それぞれのご意見を参考にし、今後も学校としてより良い教育活動を行えるよう全職員で検討していきます。
- ・「教職員の人数を増やしてほしい」「支援員をつけてほしい」「副担任を配置してほしい」とのご意見をいただきました。教職員の人材配置につきましては、全て県または市からの配置となり、学校独自で職員を配置することは今のところできない状況です。県と市にはその都度要望をしておりますが、教職員の人材確保が大変難しく、来年度も県と市に人材配置について粘り強く要望を続けていきます。保護者の皆様のお知り合いで人材の伝手がございましたら、ぜひ学校までご連絡ください。
- ・「給食の量を増やしてほしい」「子ども向けの献立にしてほしい」とのご意見をいただきました。給食の量は、国で定められた基準と児童の体位に則って決定することになっております。献立につきましては、栄養教諭と給食調理員を中心に、栄養バランスはもちろんのこと、食育の観点から児童の食の体験を増やすことを大切に考え、工夫して献立を立てておりますので、ご理解いただければ幸いです。来年度も給食試食会を行い、給食について詳しく説明させていただきますので、該当学年の保護者の皆様はよろしければご参加ください。
- ・「特別支援学級を設置してほしい」とのご意見をいただきました。1月21日にメールでご連絡差し上げた通り、本校には来年度から「自閉症情緒障害特別支援学級」が新設されることになりました。教室は、現在の日本語指導教室と1年1組の場所となります。自閉症情緒障害特別支援学級への就学や転籍をご検討の方は、まずは相談が必要となりますので、学校までご連絡ください。
- ・登下校の安全確保に関するご意見をいただきました。スクールガードの皆様は、ボランティアで児童の登下校の見守りを行ってくださっています。「おはようございます」「ありがとうございます」と、挨拶でお礼の気持ちを伝えることのできる児童を育てたいと考えておりますので、ご家庭でもお子さんにお伝えください。また、来年度も長期休み明け（4月・9月・1月）には、引き続き教職員による街頭交通安全指導を行っていきます。
- ・PTA活動についてのご意見は、PTA総務会の皆様に全てお伝えしました。PTAそしておやじの会の皆様には、今年度も本校の教育活動にご協力いただき、心より感謝申し上げます。

（３）学校運営協議会の皆様からのご意見

- ・昨年度に引き続き、約9割の保護者が「お子さんは、学校を楽しみにし元気に登校している」の項目において肯定的評価をしている。これは日頃の我が子の様子を見てそのように判断しており、すばらしいことである。学校の教育環境作りの成果として評価できる。
- ・このアンケート結果を受け止め、改善できるところを検討し、来年度につなげていくことがよりよい学校づくりにつながる。全職員で共通意識をもって取り組んでほしい。
- ・いじめについては、学校としては未然防止と早期発見のためにアンケートや面談等をこまめに行い、アンテナを高くして対応しているが、その取り組みの内容が保護者に伝わっていない部分があるのではないか。「このような取り組みをしています」という内容を保護者により周知していくとよい。
- ・昨今、「何か起きた場合は全て学校に連絡をし、対応を求める」というケースがあるが、それについては落ち着いて判断することが重要である。原則として、「学校管理下外（下校後や土日等）に起きた案件（児童同士のトラブル等を含む）」は、家庭の対応となる。一つ一つの案件に対して、それは「学校が対応すること」なのか、それとも「家庭で対応すること」なのかを正しく判断していったほしい。学校と家庭の協働意識が大切である。
- ・教職員の人材配置については、児童にとってよりよい教育環境の実現と、教職員の負担軽減と働き方改革推進を図るため、学校運営協議会からの要望として、積極的に市に要望していく。